Nagkaisa News

No.7

浜松カップ「フェスタサンバ２０１６」ブラジルカップ賞　受賞！！

10月29日に浜松カップ「フェスタサンバ2016」に出場しました。参加者はハロハロ教室の生徒、青年クラスの生徒、保護者の方、FNスタッフの混合チームです。9月から2ヶ月間、毎週土曜日の各教室の後、時間を作って練習をし、本番に臨みました。結果は「ブラジルカップ賞」となり、念願の「カップ」を手にすることができました。2ヶ月間の練習の成果を存分に発揮することができました。みんなおめでとう！！応援に来てくださったボランティアの先生方もありがとうございました。

フィリピン大使館 パスポート出張領事サービス

今年も8月6日にパスポート出張領事サービスを行いました。今年度は150名近くの方がパスポートの更新や相談に訪れました。今年は新たな取り組みとして、図書館のブックスタート事業と連携しました。たくさんの人が集まる日を活用し、母語による読み聞かせの大切さについて、理解を深めるてもらう機会を提供できました。ボランティアとして関わってくださった皆様ありがとうございました。

ステップアップクラス

毎週金曜日、日本滞在年数の長い方を対象に、バイリンガル人材を発掘、育成するためのクラスをしています。読解やアクティビティを通して、サバイバルで身につけてきた日本語をブラッシュアップしています。仲間とともに学べる場として、今後も安定して事業展開していきたいと思います。

バヤニハン①

浜北で交通安全教室を行いました。ところで自転車について、みなさんは「防犯登録」をしていますか。自転車を購入した販売店で登録します。もし、引っ越しなどのタイミングで「自転車を友人にあげたい」場合は、保証書やレシートを自転車と一緒に友人にわたしてあげてください。自転車を譲り受けた人は自転車販売店へ行き、名義人変更をしてください。これをしないと、盗難車両と誤解されることもありますので、気をつけてください。

バヤニハン②

「**フ**ィリピン人労働者が抱える法律問題」と題して、弁護士の先生から学びました。よく、「弁護士に相談するのにお金がかかりますか」という声が聞かれます。まずは、相談してください（ＦＮ080-4308-8380／ＨＩＣＥ053-458-2170／法テラス050-3383-5410）。その際、「通訳をつけてください」と言うことも忘れないようにしてください。

公開講座①
高畑教授

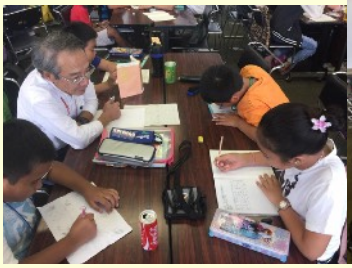
静岡県立大学准教授、高畑幸氏に、「社会調査の手法から考える―『生活者としての外国人』のニーズを基盤とした地域日本語教育の展望―」というご講義を賜りました。参加者のお声を一部、ご紹介します。「今後の活動に役立てられそう」「専門の先生から、アンケート調査についての手法や実例による比較など、とてもいい機会を与えてもらった」「アンケートによって社会の状況や問題が明らかになり、まちの多文化共生が進んだ実例があるというお話に、調査の重要性を感じた」。総じて、「具体的に学べてよかった」というご感想が多かったです。

ハロハロ教室

ハロハロ日本語クラスは土曜日の13:30～15:30に南部協働センターで行っています。（小学校～中学の年齢）来日したばかりのまだ日本の学校に慣れていない子ども達のクラスです。35名くらいの生徒が在籍しています。「初めての日本語クラス」ではフィリピン人のバイリンガル講師が文字や日本の学校で使う挨拶や言葉を教えています。そして「寄添う教室」では、日本人のボランティアさんが学校の宿題をサポートしています。

●初めての日本語クラスの様子

●寄添う教室の様子



タガログ語教室スタート！！

12月から全４回の予定で「タガログ語教室」がスタートします。実施予定日は下記です。

１回目：12月10日(土)「フィリピンのクリスマス」
２回目：1月21日(土)　「フィリピン料理」
３回目：2月4日(土)　「フィリピンのバレンタイン」
４回目：3月4日(土)　「日系フィリピン人について」

ボランティア活動に役立つタガログ語の授業＋各回にテーマを設けてフィリピンの文化紹介も行います。ご興味・ご関心のある方は是非ご参加ください。教室の案内は今後、チラシやホームページなどで行なっていきます。

公開講座②
山脇教授

10月1日に明治大学国際関係学部教授の山脇氏に、「多文化共生の新時代と学校教育」というテーマで講座を賜りました。

前半は山脇氏により、自治体の多文化共生の取組や国、文科省、ロサンゼルス市の取組の変遷についてご教示いただきました。アメリカの学校では「全国統一学力テスト」の結果から「移民の子どもの学力情報を抜き出し、政策（移民政策）に活かしている」のだそうです。教育と国策とがしっかりとタイアップされています。日本ではまだそういう取組はなされていません。

後半は、先生から次の3つの質問があり、それを受けてグループディスカッションをしました。
①「今後、外国人住民は増？維持？減？自分の予想とその根拠は？」
②「今後、外国人が増えてほしいか、維持か、減ってほしいか。自分の考え」
③「今、携わっている現場で感じていること」
ディスカッションを通して、様々な視点があるのだと考えることができました。
今回の講座から、多文化共生社会の中で期待される学校教育のあり方を多角的に捉えることができました。

SEINEN CLASS

来日したばかりの青年（15~20歳）を対象とし、土曜日13:30～15:30に南部協働センターで行なっています。内容は、日本での生活をスタートさせるために必要な知識や情報、日本語を勉強しています。今年度の特徴として、毎月のトピックを決めて、「～ができるようになる。」という目標のもと「**体験授業(study tour)**」を行なっています。

・6月：「ナイスパスを作ってバスでHICEに行こう！」
・7月：「ハローワークに行って利用の仕方を学ぼう！」
・9月：「浜松市の日本語教室を知ろう！」
・10月：「ビックカメラでお得な買い物をしよう！」

体験授業を通して、日本社会の仕組みやマナーを体感してもらうことや地域の人々や場所と繋がりをもってもらうことを目的としています。

その他にも、授業の中でグループに分かれてプロジェクトワークをしたり、日本語で簡単なプレゼンテーションをしたり、楽しく教室を行なっています。

フィリピノナガイサ　スタッフ

理事長　：　☆中村　グレイス
副理事長：　☆松本　義一
　　☆高井　マリ
スタッフ：　☆小粥　エリザベス
　　☆白方　ジョイ
　　☆杉山　ダーリン
　　☆鈴木　エバ
　　☆田中　寛美
　　☆中村　ななん
　　☆半場　和美
　　☆平原　エテル
　　☆溝部　エース
　　☆吉田　佐織

監　事　：　税理士法人黎明
　　祖父江会計事務所
　　☆湊　健一郎

FM Haro 76.1　6:10pm~

この番組は週ごとにいろいろな国が担当しています。**毎月第1日曜日**はフィリピノナガイサによるオンエア。フィリピンの文化や歌を日本語とタガログ語で紹介しています。

編集後記

これまでも外部との連携・協力のもと教室活動を行ってきましたが、今年度は今まで以上に様々な団体、関係機関、企業の皆様にご協力いただいて教室を運営しています。浜松市に住むフィリピンの人々は、永住者・定住者での滞在、家族の繋がりでの滞在が大多数です。この点からフィリピン人数は今後も増加傾向にあると予想されます。これからも、同胞に寄り添って生活に必要なサポートをしていきたいと思います。

10月29日に行われた「浜松カップ フェスタサンバ2016」では「ブラジルカップ賞」を受賞しました。「日本でブラジルカップ賞をフィリピンの団体が受賞する。」と文字にしてみると、多文化共生都市を目指す浜松ならでは！！そこが浜松の多様性で面白いと感じた1日でした。来年こそはグランプリの「浜松カップ」を目指して頑張ろう！！